

昭和37年
4月号
【第64号】
発行所 役場
狩太町
印刷所 林
稲林印

広報 かりぶと

主な記事
町議会
昭和三十七年度予算
交通安全の宣言

総額

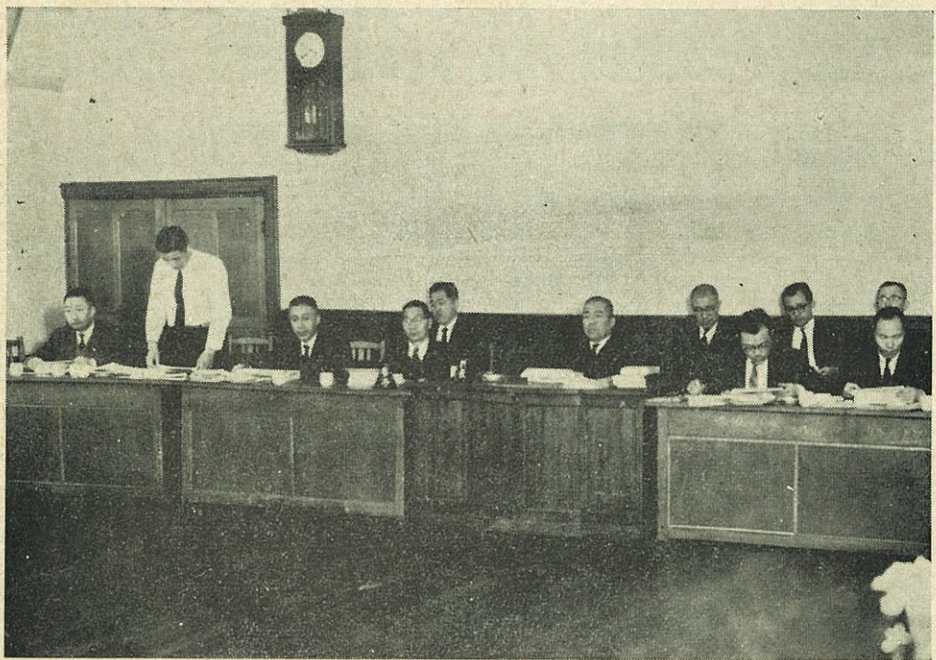
1億37.144千円余

37年度

予算きまる



昭和三十七年度の予算は、三月十二日、第二回定例町議会が召集せられ、十六日までの五日間にわたり、慎重に審議が継続せられました上原案どおり、可決決定されました。



そのあらまし

本議会に上程された予算案は、
◇一般会計歳入歳出予算
九千五百三十二万八千七百十七円

特別会計

- ◇国保事業勘定
一千二百八十二万一千三百五十二円
- ◇国保直診勘定
一千三百七十七万四千八百八十八円
- ◇簡易水道事業
八百五十六万六千二百五十円
- ◇土木機械事業
六百七十二万八千円

となつており、本会議冒頭、町長のおこなつた町政執行方針の要旨は次のとおりです。

要旨

本日開会されました定例町議会に私、町政を担い、三期の最終年にあたります昭和三十七年度歳入歳出予算案を提案いたしました、ここに施政の一

端を申しのべるのでござりまするものと存じます。本町の昨年度は、再度にわたる天災も幸い、軽度におわり、農作も一部収穫減をきたしたのもありましたが、まずまずの成績を得ましたことは、まことに同慶にたえません。

町民待望のふよう橋、永久橋の架替工事、ならびに駅前通り坂の改良工事も着工されました、いよいよ本年秋までには、観光地に一大光彩を添える名橋が完成されることであり、市街地も舗装完了されて、街の形も一変するものと存せられますが、工事施行中は何かと不便をおかけいたしますが、しばらくのご辛抱をお願いいたします次第でございます。

国道五号線も、昨年有島地区の二キロメートルが改良に着手、本年は橋梁も完成し、羊てい地区を供知安町に向つて改良工事が延長施工されることになりました。また国鉄による交通の面におきましては、当町区間の函館本線がローカル線に変更されました機会に、ジーゼル客車の運行増発が二月より実施されまして、札幌方面への交通が、まことに至便となりまして、町民の利用並びに観光客の利用度が上昇いたしましたこととはご同慶にたえません。次に、役場庁舎の建設計画であります、目標を昭

和四十年として建設所は現庁舎敷地と耐震耐火造り、延坪三五〇坪以内、総工費四千万以内六〇パーセントは自己資金の造成を自給として、本年度設計を委託する方針を打ちました。

昭和三十七年度の予算は健全財政の基本線に添い編成いたしました。前年度当初予算より、二六パーセントの増加を見た次第であります。

消防費においては、昨年度使用年限に達しました消防車一台の更新をいたすこととし、消防施設の充実をはかりました。

土木費におきましては、本年度から町道に對しての利用度合、等級を付し、この等級によつて、重点的に維持補修を行うこととし、また踏石の増産を期するたため、さく岩機を購入する予定にいたしました。

また、トラックの更新を本年計画して、その効率を期した次第でございます。次に、教育費におきましては、狩太中学校の特別教室を二教室プロック造りをもつて、現校舎裏側、屋体の北面に一階建て建築する予定にいたしました。これについては、国の助成と一部起債を予定して、もし一教室より助成の対照にならぬ場合には、起債の制限額の関係から、補助額以外は町費の負担と相成りますので、何んとか二教室の認

定方を申請中でございます。また、前年から計画中でありました水泳プールの建設を予算化いたしまして、これについて、国の助成を獲得いたしましたものと、その筋に申請いたしている次第でございます。

次に、住宅の不足の現況から公営住宅の十戸程度を計画して申請中であり、この分は、国からの助成と起債があるのですが、町費負担の少なからず、ことから考えているのですが、町に割当確定いたしましたことに予算化したいと思つております。

産経費におきましては、本年特に、畜産振興費に重点をおいて、町貸付牛の増産をはかり、小家畜振興の無利子資金の貸付も計画いたしました。

本年新たに、種子馬れい薯の更新を奨励するための助成を図つた次第であります。

近年急激に上昇してまいりました、冬の観光地、ニセコ、スキー客の対策として、スキーリフト建設方については、この地開発会社ならびに、これに関心ある向らに對して活発な運動の展開は、もちろんであります。最も手近かな対策として、本年、藻岩スロープ附近にロープ塔を設置いたすべく、予算の計上を期しました。

また、昨年度の農業用水路、橋梁等の災害復旧を計上いたしましたが、これ

については、昨年中に国の助成も確定いたしましたものでございます。

つきには、国の固定資産評価制度調査の答申に基づいて、この評価替えを本年と明年二年度で実施いたし、三十九年度より適用されることになりましたので、この対策として、職員を増補も計つた次第でございます。固定資産に対する課税としましては、固定資産税の外に相続税、贈与税、登録税、不動産取得税とありますが、その評価がまちまちである現況でございます。同じような資産に對する評価水準が違ふことが納得できない。今後は各税間でできるだけ統一をはかるべきである。この場合には、毎年納めてもらう固定資産税が一番中心となるべきで、この評価を合理化することが必要であります。

土地、家屋、償却資産の間ににおきましても、時価との関係に相当開きがあり、家屋償却資産は大体時価に近いが、土地の場合は非常に差があり、この公平を期すること。この結果におきましては、評価が高くなる可能性も多いためでありまして、その際には税率の引き下げ措置も考えられるわけでございます。

次に、計画がずさんであつて大変申し訳ない次第でございますが、一昨年度

成を見ました水道においてこの水流に對し、国道の泥水が流入する事実が明らかとなり、本年、水源を変更するよう、その筋に申請中でありまして、認可あり次第、着工いたしたいと考えております。

なお、市街地舗装工事が施工されましたので、この場合、舗装道路の両側に本管を布設いたさなければなりませんので、この計画もいたした次第でございます。

本年の工事に對しましては、国の助成はないのでありまして、起債のみ認められる状況でございます。

つきは、昨年も申し述べましたが、病院経営についてでございます。一ヶ年間の実績の結果において、利用率三八パーセント程度上つて、本年度も、四百万円程度の一般会計より繰出金を計上しなければ運営不能でございまして、本年度中に経営を根本的に改善いたす覚悟を決めた次第でございます。

最後に昨年は、特別職から、あのような事件の発生をみまして、町民各位に對しまして、大変申し訳ない次第でございます。その後、人的機構の配置も順調に進展いたしました。今までの不覚をばんかいたして、本年は、農業構造改善対策樹立の重要時期でもありまので、この部門に

専門職員の配置も考えるべきではないか、また今後の狩太町の農業経営をいたす後継者育成に、狩太高校定時の義務制の方針も打ち出す時期ではないかと検討中でございますが、みなさま方のご賛成を得れば、その方途に進展するよう一層

予算説明要旨

昭和三十七年度の予算編成にあたりましては健全財政の建前を堅持いたしまして、でき得る限り消費的経費の抑制にとつて、年度の所要額を見積り、特別の事情のない限り追加措置は行なわぬ方針のもとに編成いたしました。

本年度の計画いたしました事業のうち、補助事業の主なものは、狩太中学校の特別教室二教室（約百八十二平方メートル）の増築、小学校用のプールの建設、消防ポンプ自動車の購入、昨年度の集中豪雨による農業用施設の災害復旧工事、十六号橋の永久橋架替工事などでありま。

単独事業といたしましては、穀粉原料馬れい薯種子の更新を図るための更新奨励助成、町貸付の基礎化牛の購入、高集酪建設事業の小型サイロ、による溜、堆肥場設置に対する助成、種牡牛繋留費助成、小家畜飼育奨励の肉豚購入資金の貸付、観光振興策として、

ニセコ藻岩山下に、ロープ塔の架設工事、庁舎建設準備態勢としての設計費及び建設費充當の積立金、狩太小学校のステージ設置工事特別会計に至りましては、簡易水道設計、水源地の移設、道路舗装に伴ない、ふよう橋の架替により、橋梁加工工事、土木機械會計では貨物自動車の更新、砕石用穿岩機の購入などが主なものであります。

事業費以外の物件費、殊に消費的経費につきましては、能うかぎりの節限を図りましたが、諸物価の高騰は、歳出予算にも当然影響し各科目におきても若干の増を示しております。

一方、歳入につきましては、自主財源であります税金が、昨年度からの固定資産税の税率引き下げによりまして、大きく減じておりましたが、地方交付税は給与手当等が主なるものであり、改訂による財源附与などの関係もありまして、相当額増額交付される見込みを計

定方を申請中でございます。また、前年から計画中でありました水泳プールの建設を予算化いたしまして、これについて、国の助成を獲得いたしましたものと、その筋に申請いたしている次第でございます。

次に、住宅の不足の現況から公営住宅の十戸程度を計画して申請中であり、この分は、国からの助成と起債があるのですが、町費負担の少なからず、ことから考えているのですが、町に割当確定いたしましたことに予算化したいと思つております。

産経費におきましては、本年特に、畜産振興費に重点をおいて、町貸付牛の増産をはかり、小家畜振興の無利子資金の貸付も計画いたしました。

本年新たに、種子馬れい薯の更新を奨励するための助成を図つた次第であります。

近年急激に上昇してまいりました、冬の観光地、ニセコ、スキー客の対策として、スキーリフト建設方については、この地開発会社ならびに、これに関心ある向らに對して活発な運動の展開は、もちろんであります。最も手近かな対策として、本年、藻岩スロープ附近にロープ塔を設置いたすべく、予算の計上を期しました。

また、昨年度の農業用水路、橋梁等の災害復旧を計上いたしましたが、これ

については、昨年中に国の助成も確定いたしましたものでございます。

つきには、国の固定資産評価制度調査の答申に基づいて、この評価替えを本年と明年二年度で実施いたし、三十九年度より適用されることになりましたので、この対策として、職員を増補も計つた次第でございます。固定資産に対する課税としましては、固定資産税の外に相続税、贈与税、登録税、不動産取得税とありますが、その評価がまちまちである現況でございます。同じような資産に對する評価水準が違ふことが納得できない。今後は各税間でできるだけ統一をはかるべきである。この場合には、毎年納めてもらう固定資産税が一番中心となるべきで、この評価を合理化することが必要であります。

土地、家屋、償却資産の間ににおきましても、時価との関係に相当開きがあり、家屋償却資産は大体時価に近いが、土地の場合は非常に差があり、この公平を期すること。この結果におきましては、評価が高くなる可能性も多いためでありまして、その際には税率の引き下げ措置も考えられるわけでございます。

次に、計画がずさんであつて大変申し訳ない次第でございますが、一昨年度

成を見ました水道においてこの水流に對し、国道の泥水が流入する事実が明らかとなり、本年、水源を変更するよう、その筋に申請中でありまして、認可あり次第、着工いたしたいと考えております。

なお、市街地舗装工事が施工されましたので、この場合、舗装道路の両側に本管を布設いたさなければなりませんので、この計画もいたした次第でございます。

本年の工事に對しましては、国の助成はないのでありまして、起債のみ認められる状況でございます。

つきは、昨年も申し述べましたが、病院経営についてでございます。一ヶ年間の実績の結果において、利用率三八パーセント程度上つて、本年度も、四百万円程度の一般会計より繰出金を計上しなければ運営不能でございまして、本年度中に経営を根本的に改善いたす覚悟を決めた次第でございます。

最後に昨年は、特別職から、あのような事件の発生をみまして、町民各位に對しまして、大変申し訳ない次第でございます。その後、人的機構の配置も順調に進展いたしました。今までの不覚をばんかいたして、本年は、農業構造改善対策樹立の重要時期でもありまので、この部門に

専門職員の配置も考えるべきではないか、また今後の狩太町の農業経営をいたす後継者育成に、狩太高校定時の義務制の方針も打ち出す時期ではないかと検討中でございますが、みなさま方のご賛成を得れば、その方途に進展するよう一層

四款 使用料及手数料

前年とほぼ大差はありませんが、昨年度建築した職員、教員住宅の使用料の増を若干計上いたしました。

五款 国庫支出金

国庫支出金では、八百万円余りの増を見込みましたが、狩太中学校増築工事費補助百三十二万円、プール建設費補助八十万円、農業用施設災害復旧費補助二百九十八万円、消防施設補助、六十五万円、減税特別債元利補助金二百万円、参議院議員選挙費負担金二十三万円が、その主なものであります。

六款 道支金

総額におきまして前年と大差ありませんが、土木費の補助として十六号橋の永久橋架替工事費補助七十五万円を見込みましたのと、国民保養温泉整備費補助として、昨年見込みました駐車場建設費補助を落したのが変わった点であります。

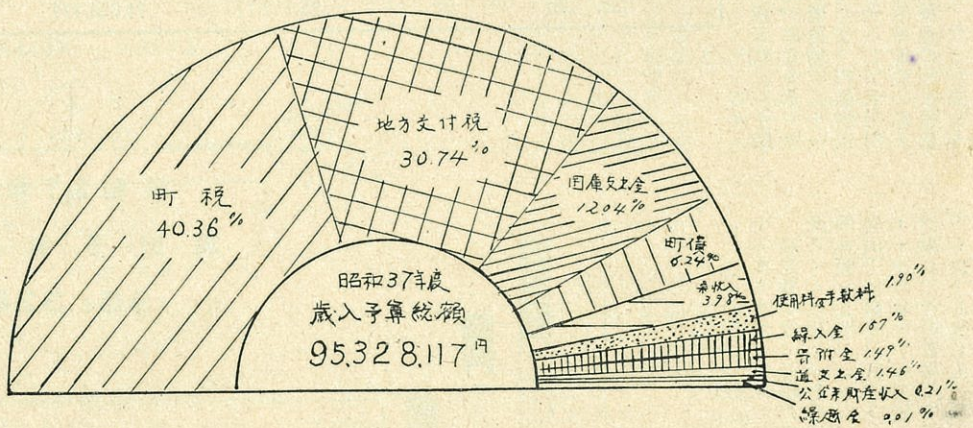
七款 寄附金

一般寄附金として百四十二万円余を計上いたしましたが、簡易水道工事関係の王子製紙会社からの百万円、農業用施設災害復旧費の受益者寄附金

八款 繰入金

繰入金百五十万円のうち、百万円は庁舎建設設計費に充てるもので、五

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	総額に対する割合
歳入	38,470,700	40,846,000	△ 2,375,300	40.36%
町税	29,300,000	17,500,000	11,800,000	30.74%
地方交付税	198,000	1,074,500	876,500	0.21%
国庫支出金	1,812,000	1,747,000	65,000	1.90%
道支金	11,476,523	3,455,556	8,020,967	12.04%
寄附金	1,389,482	1,465,701	76,219	1.46%
繰入金	1,421,700	50,300	1,371,400	1.49%
雑収入	1,501,000	3,001,000	1,500,000	1.57%
議会議費	10,000	10,000	0	0.01%
役場費	3,798,712	474,372	3,324,340	3.98%
雑収入	5,950,000	5,200,000	750,000	6.24%
歳入合計	95,328,117	74,824,429	20,523,688	100.0%



九款 繰越金

一応前年と同額を計上しました。

十款 雑収入

三百三十二万円余の増は、小家畜飼養奨励資金貸付償還金百万円、国民年金印紙売捌代二百二十万円が主なものであります。

十一款 歳出

減税補助特別債の認可は、本年が最終年であり当初の三分の一の額百七十万円、消防ポンプ自動車購入費充當百七十五万円、狩太中学校増築工事費充當百四十万円、プール建設費充當、百五十万円、合計、五百九十五万円を計上いたしました。

十二款 歳入

前年対比の増は、若干の報酬引き上げと、職員の給与改訂に伴う給料諸手当等が主なものであります。

十三款 役場費

給与費の増加百九十九万円、需要費のうち、通信費の郵便料金引き上げ、その他諸物価の高騰による分を合せまして、三十七万円の増がその主なものであります。

三款 消防費
自動車ポンプ購入費、二百四十万円が新規なものであり、貯水槽建設費四十五万円を本年は減じまして、結局、百九十一万円余の増となつております。

四款 土木費
道々留寿都、狩太停車場線の本市街地舗装が本年実施されるので、その地元負担金二百万円と十六号橋永久橋架替の自持出額七十五万円が、主な増でありまして、他は町道の維持補修費が、その大半であります。

五款 教育費
増の主なるものならばに新規計画のものを挙げますと
人件費の増 五十五万円
狩小校ステージ設置費 二十五万円
曾我小教室フロリング工事 十五万円
狩小教室二重窓工事 二十一万円
狩中校特別教室増築費 二百七十七万円
プール建設費 二百四十一万円

などでありまして、他は小中校の理科振興費、産業教育振興法に基づく備品の設備費、それに物件費の物価高騰に伴う増であります。

六款 社会及び労働施設費
公園費の減は、公園整備事業を財源事情などを考慮の上、一年見送ることとしたためであります。敬老費は従来、中心地一ヶ所で催していましたが、老人の出席状態などを考え、これを改め、各校下単位に行なわれている婦人団体、青年団体主催の催しに合せて行うこととし、その開催費に助成するよう措置しました。国民年金費で、二百四十万円余の増を計上しましたが、年金印紙の取扱を、前年歳入歳出外で処理したものを、普通会計内で予算措置をした結果が、その大半であります。なお年金保険料の徴収強化を図るために、原動機付自転車一輛購入の費用も計上いたしました。

七款 保健衛生費
この科目で八十八万円余の減額計上をしましたが、国民保健温泉地整備計画に基づく事業を、本年一年見合わせることにした結果でありまして、他については前年と大差はありません。

八款 産業経済費
農業委員会費のうちで農業就業構造改善対策費と、国有農地等管理費が新規であります。前年

九款 財産費
財政調整積立金では、一応百万円を計上いたしましたが、年度間の収支の状態を考慮し、可能の範囲で増額積立てを予定しております。

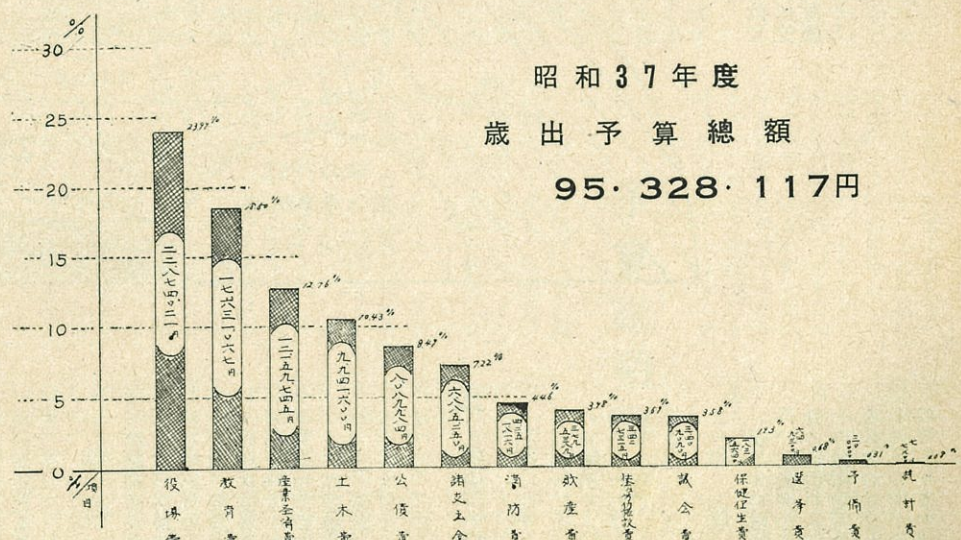
十款 統計調査費
前年と大差はありません。

十一款 選挙費
本年予定される選挙は参議院議員と、町長であるので、その関係の費用を計上し、他のものは前年と大差ありません。

十二款 公債費



歳出総括	款	本年度予算額		前年度予算額		比較	総額に対する割合
		本年度	前年度	本年度	前年度		
1.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
2.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
3.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
4.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
5.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
6.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
7.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
8.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
9.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
10.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
11.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
12.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
13.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		
14.	歳出合計	95,328,117	74,824,429	20,503,688	100.00%		



度は追加予算で計上いたしました。農林費で二百五十七万円余の増は種子、馬い薯の更新を図るため、対策委員会に対して、前年より三十万円増の助成、酪農振興対策として、

基礎牝牛購入費に三十五万円の増、によう溜、堆肥場の設置費助成に十一万五千円の増、肉豚購入資金貸付金として百万円農業経営改善策の一助として営農資金の利子補給に百万円、などが主なもの

のであります。観光費では、近時の観光ブームに合せ、その振興施設として、ニセコ藻岩山下に延長、百五十メートルのロープタワー設置を計画し、その費用八十万円を計上いたしました。

新たなものとして、昨年集中豪雨によつて被害を受けた、農業用施設の災害復旧事業費を計上しました。桂台地区の水路災害延長七十メートルの復旧工事と、桂台及び、元町

特別会計

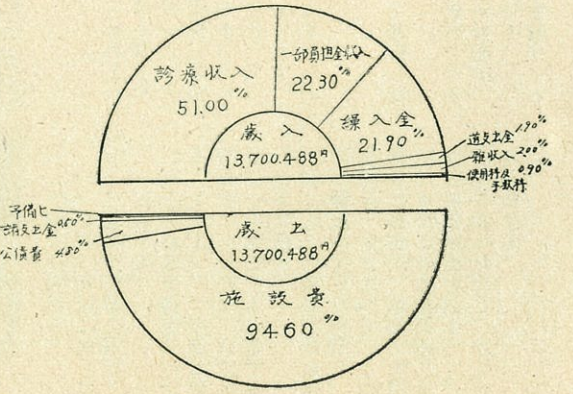
国民健康保険

(イ) 事業勘定

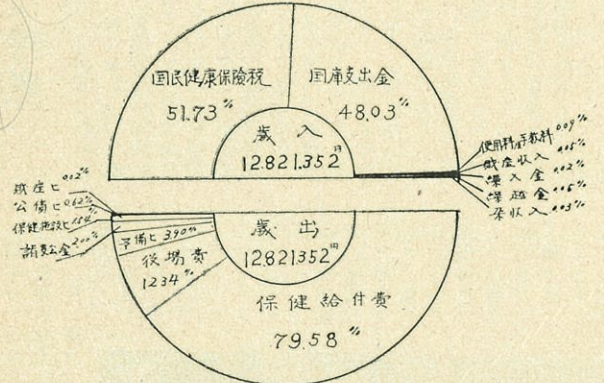
歳出におきます保険給付費が前年比して百六十三万余円増加していますが、過去の実績等を勘案、考慮の上、積算して、受診率の上昇、世帯主に対する給付割合の改正(結核、精神病)について七割給付、診療報酬点数の改訂(十四パーセント増)歯科補てつ制限解除(二十三パーセント増)等の関係が主なる増加の原因であります。

人件費の増が主なるものでありまして、この財源を歳入の診療収入に求め取支の均衡を図りました。診療収入の増加は一にかかって、直診の利用率によるものでありまして、利用率の向上には一段の努力を払い、予算計上の収入の確保に努めたいと存じます。

特別会計 (国保直診勘定)



特別会計 (国保事業勘定)



(ロ) 真診勘定
直診勘定におきましては前年より、約百万円の増加を示していますが、これは医師外職員の給与改訂によ

国民健康保険
「受診証」検認未了の方はすぐに！
国民健康保険受診証の検認につきましては去る三月二十日より三十一日まで所定の場所で行いましたが、また検認未了の世帯が相当数ありますので近日中に必ず検認をうけてください。検認をうけませんと四月一日よりの療養費に対して、五割の給付はうけられなくなりまますから必ずうけてください。



元利償還金において、百六十六万八千円の増となつておりますが、固定資産税減額特例債にかかると、三十五年度借入の元金、三十六年度借入の利子が増加したものであり、この額は国庫から補給金として交付されるものであります。

十三款 諸支出金
徴収費に於いての増は固定資産税の評価替がなされるものであつて、その基準年度は昭和三十九年であり、その調査を本年、明年の二ヶ年度で了らねばなりませんので、これらの費用を計上いたしました。

本年は土地の一筆調査を予定しております。繰出金において、国保直診分は一応前年同様、三百万円を計上しましたが、直診の利用率如何によつて左右されるものであり、この範囲でまかない得るよう期待し計上しました。

